

平成30年度 《学校経営計画》

名張市立蔵持小学校

学校長 若山 博史

1 学校教育目標

「しあわせ」の学校をつくる —主体的に学び、行動できる子どもを育てる—

2 めざす学校像、幼児・児童・生徒像、教職員像、保護者・地域像

○学校像	◎子どもたちが学校に行くことを楽しみにする学校 ◎教職員が働く喜びを実感できる学校 ◎保護者・地域に信頼される学校		
○児童像	し：しっばいをのりこえる人になる あ：あいさつができる人になる わ：わたしもあなたも大切に人になる せ：せかいに目をむける人になる	しんけんに取り組む人になる あした、したいことがある人になる わかろうと努力する人になる せきにんをもってやりぬく人になる	
○教職員像	(1) 子どもに対する愛情や責任感をもつ教職員 (2) 常に学び続ける向上心と、改善に努める教職員 (3) 教育の専門家としての確かな力量と豊かな人間性をもつ教職員 (4) 互いに支えあい、認め合い、組織的に取り組む教職員 (5) 保護者や地域住民の期待に応え信頼される教職員		
○保護者・地域像	(1) 学校と連携して子どもを育てる保護者 (2) 学校と連携することで、教育効果を高める地域		

3 学校の現状

本年度の改善方策

	児童	教職員	保護者・地域	
強み	<ul style="list-style-type: none"> 友達や先生の話をしっかり聞くことができる。 係活動や清掃活動等一生懸命に取り組むことができる。 素直で前向きに活動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 全教職員で、子どもたちの豊かな学びと育ちに向けて取り組もうとする。 助け合い、話を聞く姿勢がある。 前例にとらわれることなく、新たな発想を活かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の教育活動を支援してくれる保護者・地域、ボランティアの活躍がある。 地域で子どもたちを育てる意識の共有が広がった。 	○ 子どもたちに学ぶことの楽しさや達成感を味わわせ、自ら学び・行動できる力を養うとともに、自他のよさを認め合い、思いやりのある豊かな心を育む教育を推進する。 ○ 学校教育目標の具現化にむけ、すべての教職員が一致協力して、組織的・計画的な学校経営、学年・学級経営を進める。 ○ 小中連携を進めるとともに、保護者・地域との連携を深め、地域と共に歩む学校づくりを推進する。
弱み	<ul style="list-style-type: none"> 自分からあいさつする習慣を身に付ける。 自信をもって思いを伝える力を充実させる。 進んで読書を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「生きる力」の育成を見据えた授業力の向上を目指す。 現状に満足せず、常に改善と向上を目指すことができる。 ライフワークバランスを意識した働き方を実践することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> つながりのさらなる拡大や深まり、地域での子どもの育成に向けた取組の発信を充実させる。 協働による子ども支援の取組の充実と、連携の強化を図る。 	

4 重点的な取組事項

番号	内容	実施期間				
		28	29	30	31	32
1	「学ぶ喜び・わかる楽しさ」を体感させる授業、魅力ある教育活動を展開する。	○	○	○	○	○
2	全教職員が働く喜びを感じ、組織としての力を向上させる取組を充実させる。		○	○	○	○
3	家庭・地域と連携し、相互理解を深めるとともに、信頼される開かれた学校づくりを進める。	○	○	○		

5 平成30年度の重点目標

重点的な取組事項－1	「学ぶ喜び・わかる楽しさ」を体感させる授業、魅力ある教育活動を展開する。
A 今年度の成果目標	
①学校へ行くのが楽しいと感じている児童の割合…83%(児童アンケートによる) ②授業がわかりやすいと感じている児童の割合…95%(児童アンケートによる) ③子どもたちに「学ぶ喜び・わかる楽しさ」を体感させるような授業づくりにかけている教員の割合…95%(教職員アンケートによる)	
B 目標実現に向けた取組	
具体的な方策	
①	毎日の子どもたちの表情や行動観察、さらには友だち関係等を詳細に把握するとともに、面談や日記等、子どもたちからの思いを受け止められる取組、特別支援教育の視点を大切にした指導・支援を充実させる。
②	全国学力・学習状況調査やみえスタディ・チェックの結果から、本校児童の強み弱みを分析し、強みの更なる向上を図るとともに、弱みの克服に向けた具体的な取組を、すべての教職員で取り組む。
③	それぞれの教員の取組を情報交換するとともに、アクティブ・ラーニングなどの学習方法や、意欲・興味関心がわく学習活動など、子どもたちの実態を踏まえた積極的な授業改善を進める。
重点的な取組事項－2	全教職員が働く喜びを感じ、組織としての力を向上させる取組を充実させる。
A 今年度の成果目標	
①「しあわせ」の学校づくりの実現に向けた、具体的な取組を展開していると感じている教職員の割合…95%(教職員アンケートによる) ②子どもたちが「居心地がよく、安心できる学校・学級環境」を整えるための取組を、全教職員で充実させる。 ③ライフワークバランスを意識した働き方ができるよう、総勤務時間の縮減に向けた取組を進める。	
B 目標実現に向けた取組	
具体的な方策	
①	全教職員の学校経営参画意識を高め、みんなで「しあわせ」の学校づくりの実現に向けた具体的な取組を話し合い、実践できるようにする。
②	課題を抱える子ども、特別な支援が必要な子どものことについて理解を深め、全教職員で共通した指導・支援ができるような教育活動・教育環境を充実させる。
③	日頃から職員との積極的な話し合いを心がけ、効果的・効率的な業務推進に向けた助言・指導を行うとともに、年休取得の奨励や時間外勤務時間の縮減に向けた取組を推進する。
重点的な取組事項－3	家庭・地域と連携し、相互理解を深めるとともに、信頼される開かれた学校づくりを展開する。
A 今年度の成果目標	
①学校の教育活動等に対して満足している保護者の割合…90%(保護者アンケートによる) ②学校生活において子どもの成長を感じている保護者の割合…93%(保護者アンケートによる) ③学校支援ボランティア等、家庭・地域の方々の協力を得て、学習活動が充実したと感じている教職員の割合…95%(教職員アンケートによる)	
B 目標実現に向けた取組	
具体的な方策	
①	子どもたちの学習活動や生活状況、さらには全国学力・学習状況調査等の結果を、日々の保護者連絡だけでなく、学校だよりや個別懇談等で情報提供し、保護者と連携した取組を充実させる。
②	保護者が学校へ足を運んでもらう機会を充実させ、学校での子どもたちの様子を見ていただくとともに、学校での子どもたちの活動を積極的に発信する。
③	教科の年間指導計画等の中で、授業に学校支援ボランティアをはじめ、家庭・地域の方々に積極的に参画いただく機会を増やすとともに、地域とともにある学校づくりに向けた取組を推進する。